

# 集落復興支援事業 in 南会津郡下郷町

3年 柳生京佑

2年 鈴木海渡、高谷優希、塩野奨太、齊藤亮太

# 目次

1. はじめに
2. 下郷町の概要
3. 下郷町の魅力
4. 現状と課題
5. 提案



## はじめに 目的と狙い

美しい景観や、自然を利用とした観光で有名な  
下郷町である一方...

町の住民の高齢化などに伴う課題なども見られる。



学生ならではの視点で、町の魅力や現状を感じ、  
こうした課題に対して取り組んでいく

## 2. 下郷町の概要

# 南会津下郷町の概要

## 【概要】

下郷町は、福島県会津地方の南部に位置している。

周囲は那須山系などの山々に囲まれ、町のほぼ中央を南西から北東に阿賀川（大川）が貫流し、国指定天然記念物

「塔のへつり」に代表される雄大な渓谷が形成されている。面積の約87%は森林に覆われる緑豊かな町。

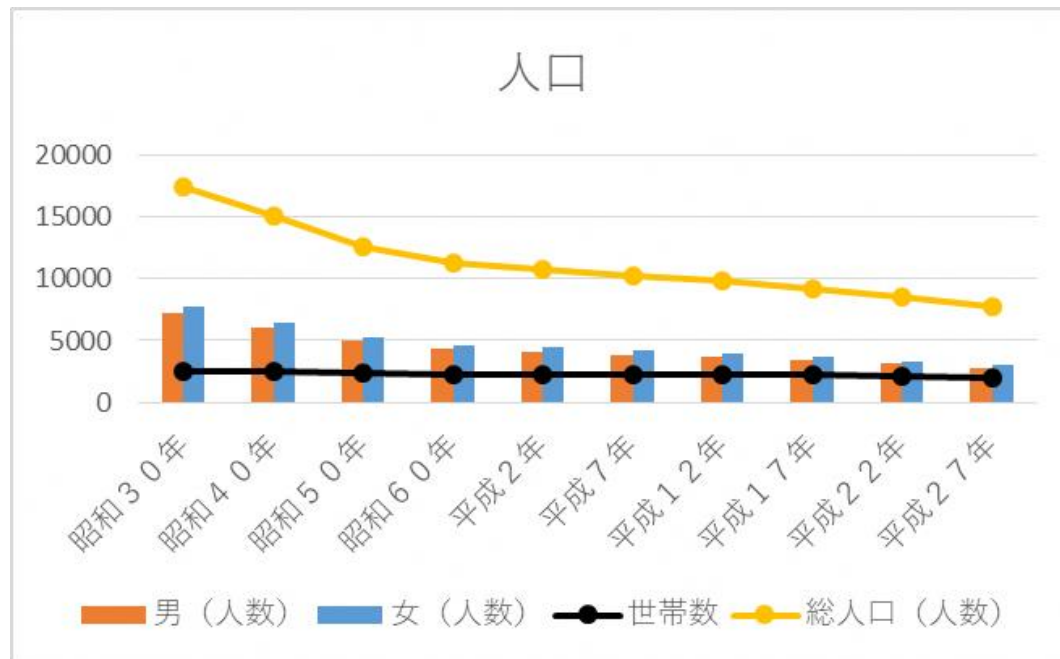


# 南会津下郷町の概要

## 【人口】

平成27年 総人口 5786人

(男：2794人 女：2992人 世帯数2003戸)



## 2. 下郷町の魅力



# 湯野上温泉駅

下郷町の玄関口で、多くの観光客が利用する駅。茅葺屋根の駅で、囲炉裏や足湯もあります。





# 猿樂台地 そば畑

「第7回美しい日本のむらコンテスト」の生産部門で農林水産大臣賞に輝いた場所。

# そば祭り

十文字地区で10年ほど前から行われている伝統的祭り。

- 地元のそば畑のそばを使って、その場でそばを打ちざるそばや月見そばを提供。
- 地元で採れた新鮮な野菜も販売しており、

北海道からの消費者がいるなど、多くのリピーターが存在



**安定した需要と、確かな魅力がある**







# 道の駅しもごう

地元猿楽台地で生産された良質なそば粉を使用した手打そばや会津地鶏丼などが楽しめる他、木工品や地元特産物等の提供も行っている。6次化商品の開発にも積極的であった。



# 大内宿

道の両側に茅葺きの屋根の民家が広がってる。  
江戸時代に、運搬路として重要であった会津西街道の宿  
場町として栄えた。江戸時代の当時の状況が伺える。



江戸時代にタイムスリップしたような気持ちになれば、  
福島県で1,2位の観光地として誇る。町並みや、食事も  
独創的で数多くの観光客で賑わう。



3.現状と課題

4.提案

# 現状と課題

①人や、自然、文化、歴史など多様な観光資源がある  
→**リピーター**が多く存在している

②情報発信が乏しい

→広告紙が**白黒用紙**であったり、目に留まりにくい場所に貼ってある

→有名な観光地以外の地域の情報発信が少なく、  
差が大きい

→交通手段が認知されていない



### ③後継者問題

→ 「引き継ぐ若者が出てきそうもない。このまま  
やっけていて意味があるのだろうか」という住民の声

→ 下郷町に残る若者が少なく、**後継者不足**が問題

→ 後継ぎがないため、自分の代で終わりにするつもり  
の生産者が存在→これまで時間をかけて確立してきた  
ブランド力がここで途絶えてしまう

+ **今後特産品として売り出すことが危うい**

▶ (EX. そば祭りなどのイベント、農家の農産物)

# 提案

①後継者不足解消のため見学・体験ツアー（EX.農業）を  
組む

→まずは地域の若者に地元の農業に興味を持ってもら  
うことが大切

②バスなどの公共交通に力を入れ、地元の人々の暮らし  
の足を支えるとともに、観光客の移動手段を確保する

→下郷町の特徴として、観光地点が点在していること  
から観光地同士を結ぶ公共交通を充実させる必要が  
ある

③情報発信については、個人でやるには限界があると思  
われるので、町役場や市役所、県庁と協力してみたり、  
企業に業務委託するのもあり。

### ③学生の手を利用する

→ 学生とタッグを組んだ方が注目されやすいのでは？

今回の事業のように大学生と関わる際に、大学生と連携していることを全面的にアピールすることで、メディアも取り上げやすい。また、地元の農業高校と連携してみるのもおもしろそうである。同じ会津地方の学校と連携することで、地域特有のアイデアを創出しやすいだろうし、連携もとりやすいのではと思う。

ご清聴ありがとうございました

